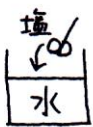


<ポイント>



水の中に塩を入れるとしみず塩水しょくえんすいになります。これを食塩水といます。

つまり、塩+水=塩水(食塩水)です。

濃さ =  $\frac{\text{部分}}{\text{全体}}$  で計算します。全体は「塩+水」 部分は「塩」 → 濃さ =  $\frac{\text{塩}}{\text{塩+水}} = \frac{\text{食塩}}{\text{食塩水}}$

※この場合、小数でできますから **100倍して%** で表します。 →  $\frac{\text{食塩}}{\text{食塩水}} \times 100$

(例) (食)塩 20g に水 180g を混ぜたときの濃さは、

ココが濃さです。

濃さ =  $\frac{\text{部分}}{\text{全体}} = \frac{20}{200}$

**%だから先に100倍かけると**  
 $\frac{20}{200} \times 100 = 10\%$

いづれにビーカー図(面積図)では必要な部分だけを書きます。

この部分はいるなり。 ⇒ 濃さ B

計算方法

A = B × C  
 B = A ÷ C  
 C = A ÷ B

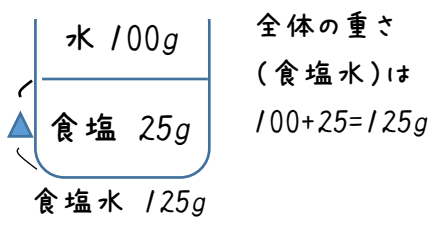
例題1

※ 全てビーカー図と面積図で説明をしていきます。

- (1) 100gの水に25gの食塩をとかすと何%の食塩水ができますか。
- (2) 8%の食塩水300gには食塩が何gとけていますか。
- (3) 30gの食塩を何gの水にとかすと12%の食塩水ができますか。

他の方法もあります。

(1) ビーカー図を書いてみます。食塩を下に水を上に書きます。



濃さは

$$\frac{25}{125} \times 100 = 20\%$$

20%

(2)

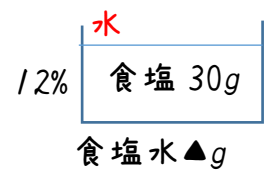
8%  
 食塩 ▲g  
 食塩水 300g

食塩の量をだすときは、%を小数になおしてから計算をする。

$$\begin{aligned} \Delta &= 300 \times 0.08 \\ &= 24g \text{ .. 食塩の量} \end{aligned}$$

24g

(3) まず、食塩水の量を出してから食塩の重さを引きます。



食塩水の量は、  
 $30 \div 0.12 = 250g$   
 水の量は、  
 $250 - 30 = 220g$

220g